

卓 話

平成 24 年 9 月 11 日

『 新世代を育てよう 』

新世代委員長 故金正司

今月は新世代月間です。9月のロータリーの友では、RI会長メッセージに触れることができます。紙面には新世代奉仕についての記事が掲載され、全国の活動事例を知ることができます。

さて、当クラブでの社会奉仕事業のひとつとして、キャリア教育に基づいた中学校への「出前講座」を実行中です。RIはすべてのクラブと地区は新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されています。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発であります。ここで学校への出前授業についての成功事例をお伝えします。



鈴鹿市内のロータリークラブは「おじさん先生」の名称で10年以上の実績があります。教育委員会から年間の出前講座要請があるわけです。津南ロータリークラブさんも海岸のゴミ拾いを生徒と一緒にやったお陰で、現在も学校からのリクエストが絶えません。この地区は当時の坂口会長が計画された最初のステージではないかと記憶しております。高山中央ロータリークラブは今、地区大会でのビデオでも紹介しました通り、3年計画で校長会とかけあい実行中で成功を収めています。ロータリーでの新世代奉仕は非常に重要であることは申し上げるまでもありません。

今日の青少年は未来のリーダーであり若いリーダーを育成することは大変意義のあることです。そしてご縁が深まれば彼らを新入会員として迎え入れ、クラブ活性化にもつながると高山中央ロータリークラブの永家さんの弁です。

田中RI会長は新入会員の受け入れ体勢が整っていなければ、新しいメンバーは育たないこともロータリーの友で発言されています。出前講座をぜひクラブ活性化の起爆剤として育てていただくことを念じてやみません。

今月に入り岐阜市教育委員会より出前授業の要請がありました。テーマは「2分の1成人式を迎えて」社会への心構えを話してほしいとのこと。華陽小学校、且格小学校の各4年生が対象です。

嬉しいお知らせを最後に私の新世代月間のスピーチとさせていただきます。
ありがとうございます。